

## 令和4年度 (一社) 犬山祭保存会理事会 第3回 議事録

### ●日時

令和4年10月9日(土) 19:00～20:30

### ●場所

IMASEN 犬山からくりミュージアム玉屋庄兵衛工房 2F

### ●出席者(敬称略)

【常任理事】会長(石田)、会長代行(多和田)、副会長(澤野、長谷川)、財務委員長(今井)、伝統文化委員長(市橋)、伝統文化副委員長(長井)、てこ委員長(浅野)、てこ副委員長(吉田成伸、陸浦)、企画広報委員長(松田)、企画広報委員長代行(齐木治郎)、企画広報副委員長(柴田)、からくり文化振興部長(加藤)、専務理事(溝口)

【理事】枝町組理事(武藤)、魚屋町組理事(小川)、下本町組理事(松岡)、中本町組理事(栗谷)、熊野町組理事(浅野)、新町組理事(坪内)、本町組理事(安田)、練屋町組理事(小島)、鍛冶屋町理事(市橋)、名栗町組理事(森)、寺内町理事(三輪)、余坂組理事(藤澤)、外町組理事(伊藤)、内田町組理事(若山)

【企画広報委員】齐木美加、前田、吉田昌司、梅田

【犬山市】歴史まちづくり課(加藤課長、市野主査)、観光課(小池課長)

【その他】観光協会(片山)、保存会事務員(竹村)

### ●議事

I. ①会長挨拶 ②報告事項

II. 議題

① 秋の祭事について(10月22日・23日)

②その他

## ●配布資料

- ① 金峰山寺催事案内
- ② 秋の催事について
- ③ 秋の催事のチラシ
- ④ 車山巡行三町内運行予定表、名簿
- ⑤ 注意と連絡事項、各連絡先
- ⑥ 電線点検等関係者
- ⑦ 警備人数員、警備配置図、看板設置予定図
- ⑧ からくり町巡りチラシ
- ⑨ からくり町巡り詳細（タイムスケジュール、実演場所）
- ⑩ 秋の催事予算案
- ⑪ 健康チェックシート

## ●議事内容

I.

### ① 会長挨拶

- ・会長：秋の催事が近づいてきており、本日はその事務的な打ち合わせとなる。各担当の委員会、若い人たちで事を進めていただいているので、その案を理事さん方にご審議いただく。よろしく願いいたします。

### ②報告事項

- ・会長代行：10月1日に第20回愛知山車祭保存協議会総会が津島で開催され、14名が犬山祭保存会から参加した。この組織を構成しているお祭の方が100名ほど参加されてそれぞれの報告を受けた。今回は企画委員会の女性に4名参加していただいた。その感想をお聞きして参考としたい。
- ・企画広報委員：10月1日に津島の総会に参加した。各地から祭関係者が集まっていらっしかったが、その中でも犬山が一番女性が多く参加していたので誇らしく思った。山車を見て、祭の仕方や衣装や、色々なことが違うことを知り、刺激を受けた。多くの山車を見る事が出来て楽しかった。皆さんも参加していただければ良いのではないかと感じた。

- ・魚屋町：11月5日に奈良県吉野の金峰山寺にからくりを出展する。ここは奈良県吉野の修験道の総本山であり、普段は見られない仏様の御開帳の時に合わせて金峯山寺の境内の中でからくりを奉納させていただく。二回ほどからくりを行う予定。以前から話はあったが、正式な報告が今回が初めてという形となった。
- ・会長：保存会として金峯山寺の神事に行くと言ったら市民も喜ぶ人もいると思う。情報をオープンにさせていただきたい。かつて京都の祇園祭のあるところで平安京1200年の催事に犬山から名栗町が出てくれたが、その時は保存会や犬山市の市民も一緒に行った。そのための委員会があるので、情報公開して、楽しむような雰囲気、市民の共有の機会としてオープンにした方がいいのでは。
- ・魚屋町：今回の話が正式に決まったのがかなり最近であり、なかなか相談もできない状態だった。
- ・会長：木曾川町の魚屋町の乱杭渡りの行事も、魚屋町の行事になっていたのも、古いものや伝統は守ったうえで、組織はオープンにしていった方がいいと思う。今後はそのようによろしく願いたい。
- ・専務理事：文化財を県の外に出すので、県に移動届を出すことになる。この時に、犬山祭保存会名で出すので、そのようなことも認識しておいていただきたい。
- ・歴史まちづくり課：事前協議の上で、今回は届出は不要とのこと。
- ・会長代行：情報開示して理事会で報告していただくという形で進めていきたいと思っているので、今後ご協力よろしくお願いします。  
それぞれの委員会が開催されているので、その報告をしていただく。
- ・企画広報委員長：合同委員会で企画をして、前回と前々回の理事会でも議論をしていただいた。

秋の催事についてということで、伝統文化の継承を重きに置き企画をしたいということで話し合いをしてきた。時間がタイトな中で観光課や警察等々と協議を重ね、昨日警察署の方で、保存会、観光課、警察署の三者協議の上で、交通規制をとって車山を運行するという方向で話が進んだ。企画広報として、からくり町巡りについて、物販の仕方について、女性を入れて議論もした。犬山中学校のアートコミュニケーション部にからくりをやっていただく準備についての議論をした。また22日の運行についても保存会から足りていないガードマンを補填するのでその話し合いをした。

- ・ 伝統文化委員長：10月1日に伝統文化委員会を開催し、からくり町巡りについて、からくりを操作したりお囃子をされる方から意見をお聞きした。本日の資料に出ているので後程詳しくご報告する。
- ・ てこ委員長：先日10月3日に車山を出される三町内の車山巡行ルート of 電線点検を行い、二カ所直していただく箇所があった。作業は15日までに終わる予定。
- ・ 企画広報委員（練屋町）：からくり町巡りについて、車山を運行するという形で進んでいると思うが、8月の理事会の時に、各町内の理事さんから意見をお聞きして、9月の理事会で集約して決めさせていただく、と言う形で話が進んでいたと思うが、9月の時は、車山運行について、事ありきのような説明があったように思う。その時に、採決もされず、少数意見が通らなかったようなところがどうしても気になっている。そのあたりの説明をお聞かせ願いたい。
- ・ 会長代行：保存会としては、秋の催事について、からくり町巡りだけにするのか、車山運行もするのか、ということについて、理事の皆さんが町内に持ち帰られ、その結果、車山を出される場所と出されないところが決定し、三町内が運行するというお返事をいただき、それでよろしいですかということで前回の理事会で承認をいただき、現在その形で進めているということである。車山運行をやるかやめるかという結論はその時点では出していないので、出される町内があればそれを優先して、今回は企画委員会その他のご意見を拝聴しながら決定したと思うので、私共としては各理事さんのご意見をお聞きして無理をして進めたつもりではないのでご了解いただきたい。
- ・ 企画広報委員（練屋町）：そもそも、22日車山運行、23日からくり町巡りというこのたたき台としての案はいつ決まったのか。
- ・ 専務理事：なぜからくり町巡りに合わせて車山を出すのか、ということは、こういった主旨によるものである、ということをおこれまでの理事会でも資料も配布したうえで説明させていただいている。ただし、ご納得のいかないご町内は、自由参加であるから、車山運行に参加されないということになったのであり、ごり押しということではない。練屋町も理事さんの判断で出ないということになったのであれば、何も問題はない。
- ・ 企画広報委員（練屋町）：ごり押しということを行っているわけではないが、少数意見が通らなかったことの説明が欲しいということである。車山を出すことが伝統文化の継承ということになるのかよく分からないが、車山蔵を開放して車山をお見

せすることも伝統文化の継承ではないかと思うが、車山を曳くこと自体が伝統文化の継承ということにはならないのではないかと個人的には思う。

- ・専務理事：愛知県の各地を見ると、何らかの形で祭をやっている。3年もまともにやっていないと、お囃子等もおかしくなってしまう、ということで各地の祭も縮小してやっている。今回も、この3年間で車山を出すチャンスが、試楽・本楽の二日分併せて6回分のうちの今年の1回のみという状況であり、これではお囃子もからくりも練習不足で良いのか、ということである。
- ・練屋町：来年以降も続けていきたい、とレジュメにあるが、そのような形になるのか。ある程度の目的などがなければいけないのではないかと。
- ・専務理事：レジュメにも、「昨今は文化庁の文化財への価値も、保存から活用へと見直されております」と書いてある。
- ・練屋町：春の祭が400年近く続いているのに、なぜ秋の祭をやらなければならないのか。
- ・会長代行：最後の二行について。今年とはまた別に、じっくり考えた上で企画が上がってくる。車山を曳くかどうかは分からないが、ひとまず、やりたいという要望があったということ踏まえたものであり、やるかやらないかはまだ決めていない。城下町まつりとして来年以降もこの企画を続けたいということで同じことをやるという意味ではない。
- ・練屋町：車山を一日曳くということは、町内会の準備は一日だけではない。後片付けも必ず一日必要となる。実際にそういったことをやるのは、町内会の年配の者である。年間に、春の祭に向けて一年間通して動いている。そこに秋の祭をやれというのは、年配者にとっては無理がある。
- ・会長代行：その意見も承って参考にさせていただいたうえで、来年以降も犬山秋の城下町まつりの企画を練っていくということで、ご意見を反映させていただく。
- ・会長：数年前に、3年続けて町内からの理事さんは、一年交代でなくて少なくとも3、4年は同じ人が出てきてください、とお願いをしている。そうしないと議論が戻ってってしまう。今のお話は、ずっとやってきている。新しく代わった理事さんは、それまでの議論が頭に入っていないので、またやり直しをすることになる。固定してくださいとお願いしているが、そこを町内が理解していただけていない。分かっただけにいると思うが、理事さんには保存会の立場を町内に説明してほしい。また、秋になぜ犬山祭をやるのか、ということについて、これは大事なこと

で、秋は犬山祭の祭礼ではなく、「秋の催事」となっている。これは前の議論でも出たことである。

- ・練屋町：前に議論が出て、秋の祭りはやめようということに保存会で決めたのではないか。
- ・会長：そこまでは決めていない。犬山祭という呼び方を止めよう、ということである。やはり一年中なにか、車山蔵の掃除をしたり、祭に関わることをやらなければならないということで、先ほどのお話にもあったが、町内のご年配の方だけではできない。なので、外の若い人も会員にして、若い人でやっていくというのが今回の改革である。一年や二年ではなかなか定着しないことではあるが、そのような方向で話し合っていてやっていくということである。
- ・練屋町：やりたい人がやるというだけでは回っていかない。
- ・会長：外の人を入れて、何とかやっぺいこうということであって、コミュニティなので話し合っていてやっていくことが大事である。
- ・会長代行：決め方ということでご質問をいただいたが、私共としてはこの案で3、4回この理事会でその都度確認をしてきているので、今回はご了承いただきたい。そのように進めている。その方向ありきで進めているわけではないので、ご理解いただきたい。
- ・練屋町：てこや子供連は祭をやりたいし、車山に上りたくて仕方がないが、他の町内の車山は動いているのに自分のところはなぜ動いていないのか、と言われることもある。町内としてはやりたくても、やるための負担がある。
- ・会長代行：今会長が言われたように、その方向に向けて改革を進めている。ご町内にも事情がおりかと思うので、納得していただけていないのも分かるが、その垣根を取り払って前に向かって進んでいこうということである。
- ・練屋町：今まで続いてきた犬山祭の形を変えようということか。
- ・会長代行：祭自体は、変えてはいけないところは絶対に変えてはいけない。
- ・練屋町：400年近くこれまで続いてきた祭を絶やしてはいけないという気持ちでやっている。
- ・会長：練屋町の幕も修理したが、そういったものは江戸時代のままで守らなければならないものである。そういった伝統は守らなければならないが、運営方法は変えていかなければならないということである。

- ・練屋町：そういったものを含めて今まで変わらずやってきたのでは。これまでも、サラリーマンが増えてきたので開催日を土日するといったように変えてきたが、主体を町内でなくどこかに変えようということか。
- ・会長：こういった議論をずっとやってきている。今言われたように、日程が変わっていったのと同じように、やる人の中身も変わっていく。
- ・会長代行：前向きに私共も考えているし、町内の伝統のことも分かっているので、そのあたりの調和も取りながら進めていきたいと思っているので、よろしくお願いします。

## II. 議題

### ① 秋の催事について（10月22日・23日）

- ・企画広報委員長：22日土曜日について。余坂町、寺内町、熊野町は、人が集中する場所は時間を決めて運行する。警察署員も派遣して安全に運行できるようにしますとのこと。その時間帯について、てこ委員長とも相談して修正していく。

駅前通りを熊野町が、朝と夕方に運行する。自主警備のうえでこのような形で進めていくこととなる。

注意と連絡事項について。春の祭と同じような内容。飲酒については警察から厳しく言われたため、関係町内の方はご注意ください。

警備の人員数について。犬山市の職員の方にもご協力いただく。ガードマンも来ていただく。例年通り車山周りに警固をつける。他町内の応援として約15名は企画広報の方で出す。車山を出さない町内のでこの方でいっしょにすれば是非お願いしたい。愛知大学学生とナイスで犬山から15名ほどご用意いただいている。

22日に三町内の代表の方に余遊亭前広場に集まっていただき、雨天の場合の協議などをしていただく。完了報告は従来文化史料館にかけていただいていたが、今年からはからくり館にかけていただく。

- ・企画広報副委員長：22日朝の会議で天気の情報に関してPC持ち込みは私が担当する。
- ・企画広報委員長：規制図について、15日広報に載るように手配しているのでご周知のほどよろしく願います。
- ・会長代行：理事の皆さんはご町内の方にもご周知していただくようお願いしたい。
- ・伝統文化委員長：23日からくり町巡りについて。からくり町巡りも15日広報配布の中に入れてさせていただく。

今仙研究所でオープニングセレモニーを9時半から行う。玉屋庄兵衛氏の座敷からくりを披露していただく。

からくり披露と説明の後余遊亭に移る。魚屋町が終了すると、外町との場所が離れているのでなかなか誘導ができないので、11時から外町車山蔵前であらくりをやることをご案内して外町に誘導していただけるようお願いいたします。どんでん館の方も4町内行われて、各町内でも準備等あると思うが、外町が11時から行われるのでそちらに少しでも参加していただけるとありがたい。

魚屋町が10時20分から、説明と実演で20分ほど、次の会場への移動が10分ほどで考えている。寺内町10時50分、外町11時00分、枝町11時20分、熊野町11時50分、練屋町12時20分。基本的には雨天決行であるので、車山蔵前で演台を組まれると思うが、雨天時は車山の上での披露となる。各町内で演技場所も適宜ご検討をお願いしたい。寺内町にはお囃子台の毛氈を貸出する。



どんでん館で12時50分から中学校、中本町13時10分、名栗町13時30分、鍛冶屋町13時50分、下本町14時10分。こちらは同一場所なので20分刻みで計画させていただきました。どんでん館前広場で中学校、鍛冶屋町、下本町と演台を並べる。どんでん館の中で名栗町が車山の上で行う。中本町は階段横の演台で行う。

雨天の場合は、鍛冶屋町・下本町はどんでん館の中となる。中学校は雨天時はからくり館に移動する。中学校のからくりを振興部と企画委員会の方で、どんでん館で解体していただく予定となっている。どんでん館終了後からくり館に行き、からくり館前で本町14時40分、新町15時00分で行う。からくり館の中で犬山高校が15時20分。雨天の場合は新町・本町はからくり館内で行う。中学校は、雨の場合はどんでん館から南館に持ってきて、犬山高校終了後に上演、放送設備の準備もする。どんでん館は中本町の上演を中で行う場合、投光器の設置を行う。下本町鍛冶屋町には毛氈の貸し出しをする。からくりミュージアムで毛氈と放送設備を貸出する。

演目の説明は3分程度、からくり実演を含めて20分ほどでお願いしたい。会場から会場への移動時間を10分とってあるが、20分以上使われるとスケジュールが間に合わなくなるため、ご協力をお願いしたい。

からくり人形の演台の撤収についてはご町内の判断とするが、どんでん館・からくり館は同一会場であるので、一つの会場内で調整していただき、スムーズに行われるようにしていただきたい。ご町内でからくりを行う場合、お客様が道路に出られる際の誘導と交通整理をお願いしたい。車山の上でのからくり

披露を希望するご町内がいるかもしれないが、今回は身近に見ていただきたいということで演台の方で披露していただくようお願いする。

時間中で何度披露していただいてもいいが、必ずチラシ記載の時間にスタートしていただくようお願いする。からくり実演以外に、子供さんのお囃子もご町内で自由に行って頂きたい。

今回、演奏台を各所に運ぶことは、人員等の手配が難しいということで、各町内は毛氈等と座布団引いていただき対応していただきたい。

以前は放送設備を各会場にもっていったが、今回はメガホンのみを持っていく。ご町内で放送設備があれば、それらのご用意のご検討もしていただきたい。

どんでん館とからくり館は、23日については無料開放ということになったので、楽しんでいただけるのではないかと思う。

- ・魚屋町：魚屋町の開催場所について、この日に車山組みをやることになっている。役員会の意向としては、余遊亭ではなくて車山蔵でやれたら、そちらでも見ていただけると思うし、人員的な問題あるので、チラシには余遊亭とあるが、そこは町内のものが車山蔵の方に案内させていただき、そこで披露できたらと思っている。
- ・伝統文化委員長：チラシには、当日雨天等の理由で時間場所を変更することはありません、と記載されているので、調整していただけるのではないかと思う。
- ・専務理事：雨天の場合は余遊亭でやられるということで、それでよろしいかと思う。晴天の際は車山蔵前の方がお客様にも見てもらえると思うのでそれで良いかと思う。その時に、余遊亭のところで場所変更の案内をしていただきたい。
- ・新町：からくり館で実演する際、資材の搬入に関しては何時頃となるか。
- ・伝統文化委員長：10時30分に搬入し、2時にはすべて完了していただきたい。

- ・ 伝統文化委員長：どんでん館の4町内に関して、下本町が9時に集合するので鍛冶屋町も9時に合わせる予定、9時30頃に設置予定。
- ・ 搬入について、天候によって、前日に持って行きたいというケースがあるかもしれないので、そういった時はまたご相談させていただきたい。
- ・ 専務理事：予算について。10月22日（土）16時30分から18時の間に、からくり館に補助金を取りに来ていただきたい。車山を出すご町内が3万円、からくりを出すご町内が3万円、両方出すご町内が6万円となる。

天候不順の場合、車山が出せない場合があるが、その場合でも補助金は出る予定なので、ご町内で車山蔵の中で飾り山だけはやっていただきたい。11時から15時ごろまでで良い。

- ・ 魚屋町：保険について、23日に車山組みをやるが、その中に保険は入るか。
- ・ 専務理事：保険期間は22、23の両日なので問題ない。
- ・ 会長代行：本日が22日と23日に向けての最後の理事会なので、ご質問があれば承る。
- ・ 枝町：23日のからくり町巡りは、いつ頃まで行っていつ撤収するかは町内の判断になるのか。
- ・ 伝統文化委員長：枝町さんは少なくとも11時前にセッティングし、40分ほどで終わるが、以前は一時間ほどそのままにしていたが、少なくとも30分ほどは設置しておいていただきたい。

どんでん館・からくり館では、集合している町内で撤収の時間も調整して頂くようお願いしたい。

- ・ 会長代行：それより長くやっていただく分には問題はないのでよろしく願いします。

それでは秋の催事についてはご承認いただいたということで実施に向けていきたい。準備不足の所等あれば企画委員会等の方でご検討いただきたいと思いますのでよろしくをお願いします。

- ・企画広報副委員長：コロナ対策について。健康チェックシートを作成したので、三町内には、22日朝のご協議の際にお配りする。16時半からの補助金交付の際にもからくり町巡りの際健康チェックシートをお配りする。当日参加される方に各項目を記載していただき後日ご報告いただきたいと思います。またこの後、保存会ホームページとフェイスブックに、交通規制とからくり町巡りの案内についてアップする予定なので皆さんにもご周知いただきたいと思います。諸事情で変更する場合はアナウンスさせていただきます、と添えてアップする予定。
- ・伝統文化委員長：小雨くらいなら問題ないが、例えば台風等の場合は、急遽ご町内に連絡させていただくのでよろしくをお願いします。
- ・会長代行：飲酒については警察も非常に気にしてみえるので車山を出すご町内はご注意の上運行して頂きたい。以上で議題を終わらせていただきます。

## ② その他

- ・会長：皆さんありがとうございました。我々は仲間なので、率直な意見を言ってもらくと、議論によって大事なことがあぶりだされていくので、遠慮なくやっていきたい。中部大学でも祭を提案して、今SDGsということが盛んに言われているが、日本の祭りはSDGsであると提案して、結び付ける運動をしている。先日須成祭に行ったが、須成では100日祭のことをやっている。ちまきを巻くものを田で育てて祭の道具を作ることから皆さんでやっている。これは自分達のふるさとのためである、ということで皆さん作業し

ている。皆さんもそういう気持ちはあると思うが、犬山市から公金も投入してもらっているし、城下町の祭として地域やふるさとのためにやろうという気持ちを忘れてはいけないと思うし、皆さんも持っていらっしゃると思う。

今は、犬山はとても良い位置に来ている。一昔前は工業団地を誘致したりニュータウンを増やすのが財政を潤す方法として日本中の流行りだった、それが今では工業製品ではなく、サービス業の流れになってきた。全国のまちが観光行政にシフトしたいと思っている。しかしこれは簡単にはできない。

犬山は愛知で一番の観光地であるし、ノウハウと蓄積がある。観光に役立つ文化で一番良いのは祭であると文化庁は位置付けている。まちを愛する気持ちを持ちながら祭を一生懸命続けることが犬山市に対する支援になっていくと確信している。夢と希望を持って犬山祭を続けていきたいと思っているのでよろしくお願いしたい。

●次回日時

令和4年11月19日

●次回場所

からくり館2階

●記録日

令和4年10月10日

●記録者

竹村

●署名

石田芳子

多和田兼道